

令和2年7月14日発行
京都府丹後保健所 保健課
(丹後地域包括ケア推進ネット)

1 活動通信（第19号）のアンケートについて

5月1日発行前号のコロナ禍における取組アンケートに御協力いただきありがとうございました。返信して頂いた声を掲載します。

◆オレンジロードつなげ隊として、今の状況の中で取り組んでいること

- ・まず、自分の住んでいる地域に目を向け、身近な人から認知症について知ってもらう。
- ・仕事の送迎中に街中の様子は気にするようにしています。
- ・個々に電話をして服薬確認や体調を伺っています。
- ・ケアマネとして電話や手紙の活用、施設では通信アプリの動画、面会、面談を取り入れています。
- ・デイサービスの送迎時にご自宅での様子をご家族に伺ったり、お話の機会を持つようにしています。運動不足解消のため高齢者専用賃貸住宅には体操メニューを紹介しました。
- ・今後、マスクが必要となるので、もらい物の手拭いを使って訪問用のマスクを手縫いしています。
- ・認知症カフェ参加者に往復はがきを使い、安否確認、近況、サロンへのリクエストをチェックして返信していただいた。はがきの下にフクロウマークと一言を記入して送りました。



◆オレンジロードつなげ隊として、自粛解除後にやりたいこと、考えていること、思いなど

- ・認知症講座、地域の方が認知症について知る機会を作る。
- ・認知症カフェの開催
- ・カフェをされる時があればお手伝いしたいです。
- ・普通に一緒に会話やお茶を飲むなど、団らんをしたい。
- ・サロンでリーフレットの配布
- ・施設の中庭に憩いのスペースを作り、ご近所の方にも気軽に寄っていただける居場所作り
- ・デイサービスでは外出、外食、レクリエーションにカラオケの希望があります。高齢者の方が楽しく過ごすことは認知症予防にもつながると思います。お出かけの企画を計画したり、活動的に過ごせるようお手伝いできればと考えています。
- ・今は思い浮かびませんが、つなげ隊としてできることは協力します。
- ・一人暮らしの方や気になる地域の方を訪問して、体調面や精神面を気にしつつ、ほっこりとするお話、楽しい会話をしてあげたい。
- ・カフェ再開したら行きたいと思っています。それ以外今は思いつきません。
- ・9月アルツハイマー月間に観光地（天橋立、駅、ビューランドなど）で啓発活動を行いたいです。



◆個人として、普段の生活で取り組んでいること

- ・うがい、手洗いの徹底、感染予防。必要最低限外出しない。
- ・自分が感染源の可能性もあると思い、必要以上の関わりを持たないようにしている。
- ・自粛のため、どこにも出かけないので、普段はしない掃除をしてちょっとキレイになり、運動も兼ねて一石二鳥です。
- ・地域の民生委員さんに高齢者の方で困り事のある人はいないか尋ねている。
- ・ちょっとお困り事があるように思えたら、お声掛けをして笑顔を差し上げたい。
- ・特に何も変わりありません。あまり変わらない日常が送れることはありがたいことです。

◆個人として、自粛解除後にやりたいこと、考えていること、思いなど

- ・友達と一緒に食事に行きたい。
- ・認知症カフェにて地域の方の体調確認。



- ・普通に一緒に会話やお茶を飲むなど、団らんをしたい。
- ・離れて暮らす家族や親戚に会いたいです。控えていたお買い物を楽しんだり、外食に行きたいです。
- ・個々に訪問して、最近の生活の様子を観察する。
- ・気になる方を観察し、日常を支援しながら、次へ繋いでいけるように心掛けたい。
- ・面会に行きたい方のところに行けていないので、自粛解除後には面会に行きたいです。買い物に遠出したいです。



◆自由記載

- ・休校で子供もストレスが溜まっているみたいなので、楽しめる献立を考えるようにしている。
- ・とにかく、マスク作りが楽しいので続けていきたい。
- ・マスク、ありがとうございます。仕事帰りではなかなか売ってなかったので、とても嬉しかったです。今は施設内や地域にコロナウイルス感染症が発生した時の対応について他職員と一緒に考えています。自宅や居家でずっと過ごすことになれば、認知症の方は理由も十分理解できずストレスが溜まってしまうので、ストレスが和らぐ方法も一緒に考える必要があると思っています。ポットに植えた種が芽を出し、少しずつ成長していくのを毎日見ると、この先に嬉しいこともあるのではないかと思います。



新型コロナウイルス感染症の終息と皆が安心して生活できることを願って。

2 【予告】若年性認知症支援研修会の開催について

昨年末中止した表記研修会を、8月27日（木）に丹後保健所にて開催します。

メイン講演は、高齢者福祉施設西院 所長 河本歩美氏、作業療法士 田端重樹氏からデイサービス等での「居場所」づくりとしての取組「*sitte*プロジェクト」についてお話いただきます。

さらに、丹後管内で支援をされている方からの実践報告もさせていただきます。

一つ目は、当事者の思いに寄り添い、当事者の居場所として市町をまたいで開催した「*ふらっと伊根カフェ*」

二つ目は、調理や食を通して当事者へ心地よい場所を提供している「*ほっこり料理塾*」

三つ目は、「*自己紹介 AtoZ*」の手法を用いて高齢者にインタビューする取組

四つ目は、理学療法士という観点から「*居場所と役割作り*」を地域再生という切り口から実現していくこと

五つ目は、介護保険事業所の認知症対応型デイサービス「*ひだまりの家*」で認知症の方との関わりから

実践報告のコーディネーターは、ゆう薬局グループでコミュニティカフェ「*ゆう薬局カフェ*」を開催されている船戸薬剤師です。

研修会は、つなげ隊員その他、福祉分野及び障害分野からも多くの参加いただきたいのですが、コロナ禍による密を避けるため、今年度はインターネット会議システム「Zoom」による同時配信、ビデオ撮影による後日DVD配付、限定公開YouTube配信などを予定しています。どうしても視聴環境が整わない方は会場で聴講いただけるよう検討しますが、定員に達した場合は他の方法により聴講して頂きますようお願いいたします。

また、視聴後の質問についても受け付け、後日、講師へ回答いただく予定です。詳細は後日発送の開催要領チラシを参考にしてください。

今後、支援者の方々が活動していく上でのヒントになればと思います。



Sitteプロジェクトで作成された
カッティングボード等